

令和6年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	大町市内観光周遊促進事業
事業主体 (連絡先)	大町市地域振興部観光文化課 大町市大町 3887 番地
事業区分	(6) ア 特色ある観光地づくり (8) その他地域の元気を生み出す地域づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	14,014,340 円 (うち支援金: 3,600,000 円)

事業内容

立山黒部アルペンルート及び黒部ダム以外の市内観光地を活用しての市内宿泊者満足度向上、夜間の観光コンテンツ充実、観光客及び市民の回遊性向上を目指し、北アルプス国際芸術祭 2024 に合わせて市内周遊バスを運行、秋期に歴史的建造物等への夜間ライトアップと市内在住の日展工芸作家展へのライトアップイベントを実施。

【実施場所、期間】

- ・市内周遊バス: 令和6年9月13日～令和6年11月4日
- ・若一王子神社: 令和6年10月12日～令和6年10月14日
- ・霊松寺: 令和6年10月26日～令和6年11月3日
(日展工芸作家展は令和6年11月4日まで)

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①北アルプス国際芸術祭 2024 に合わせた市内周遊バスの運行に加え、当市の歴史的建造物である若一王子神社、霊松寺において夜間ライトアップを開催するとともに、霊松寺日中における作品展へのライトアップも実施したことで、更なる観光客の回遊性や市内の観光資源の認知度向上につながった。

②累計来場者数は、ライトアップについて若一王子神社が 650 人、霊松寺は 2042 人(うち日展工芸作家展は 925 人)で計 2,692 人、市内周遊バス 46 日間で 1855 人となった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

季節ごとに地域を盛り上げるコンテンツとして、本事業は一定の効果を挙げられた。今後の展開として、ライトアップについては大変好評なため継続していく。一方で、紅葉の時期が遅れていることもあり、開催時期を合わせることや、週末に特化したイベントに変えていくなど、開催の時期・内容の調整を図り、当地域への集客に努めたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【市内周遊バス及び若一王子神社、
霊松寺ライトアップ実施の様子】

【目標・ねらい】

- ①観光客の満足度向上。
- ②歴史ある地域資源の観光地としての活用。
- ③観光客及び市民の回遊性向上。

※自己評価【 B 】

【理由】

- ・ライトアップは紅葉シーズンが遅れたことにより、前半が伸び悩んだ。
- ・市内周遊バスはお客様に好評だったが、前半の平日が少ないことが影響した。